

2. 播種期・生育期の管理作業（前編）

ポイント 栽培開始の遅れを取り戻しつつ、生育環境を整備しましょう！

1) 遅播き対策 ～生育期間の短さを株数で補いましょう！～

（参考）播種期別の畦間・株間・播種量の目安

播種期	畦幅 (cm)	株間 (cm)	播種量 (kg/10a)
7月上～中旬※適期！	70	21～13	4～7
7月下旬～8月		13～9	7～10

・播種が遅れた場合は、圃場内の株数を増やし収量を確保することが重要です。

注意！ 雑草対策のため、播種後の除草剤散布は速やかに行いましょう！

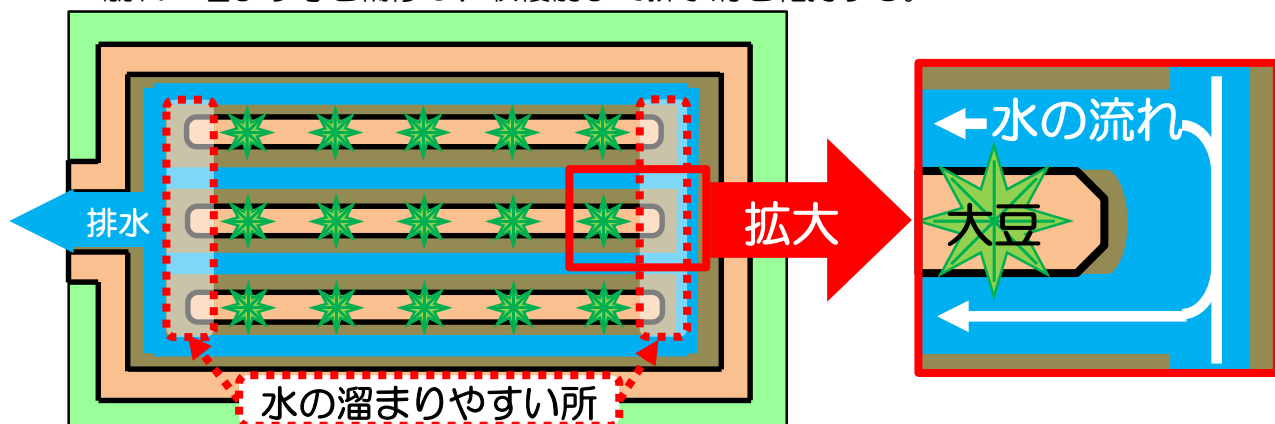
2) 排水対策 ～水を溜めない圃場にしましょう！～

(1) 排水施工で注意する点

- ①排水溝は圃場の外回り（額縁）と畦間に作る。
- ②額縁と畦間の排水溝が出会う箇所は平らに広くし、水が確実に流れるようにする。

(2) 施工後の整備

崩れ・埋まり等を補修し、収穫前まで排水溝を維持する。



・圃場に水が溜まったままの状態が、湿害による生育不良の原因となります。雨が降っても、速やかに水が出て行く圃場づくりを心掛けましょう。

3) 中耕培土 ～収量・品質向上の土台づくりを！～

(1) 中耕培土の目的

- ①排水性・通気性の向上
- ②株間の雑草防除
- ③発根促進による倒伏防止

(2) 中耕培土の時期

- 1回目 本葉3葉期
(播種後20日頃)
- 2回目 本葉5葉期
(播種後30日頃)

注意！ 時期が遅れると大豆の根を傷付けます！

- ・大豆の株元に土を盛ることで、発生する根が多くなり生育も旺盛となります。
- ・排水対策とあわせ適期に作業を行いましょう。

